

科目名		授業形態	担当教員名	
口腔外科学		講義	大森 昭輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
歯科衛生業務を行うために必要な、顎口腔領域に生じる各種疾患の特徴や症状、診断法および治療法を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1.顎口腔領域に生じる各種疾患を分類できる。 2.先天異常と発育異常の症状と治療法を概説できる。 3.顎口腔領域の損傷と機能障害の症状と治療法を概説できる。 4.口腔粘膜疾患の種類と症状および治療法を概説できる。 5.顎口腔領域の化膿性炎症疾患の症状と治療法を概説できる。 6.顎口腔領域の嚢胞性疾患の種類と症状および治療法を概説できる。 7.顎口腔領域の腫瘍の種類と症状および治療法を概説できる。 8.唾液腺疾患の症状と治療法を概説できる。 9.顎口腔領域の神経疾患の症状を概説できる。 10.抜歯・小手術の術中・術後の偶発症および術後の注意を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	口腔（こうくう）外科の概要＋先天異常と発育障害（その１）			
2	先天異常と発育障害（その２）			
3	損傷＋歯槽骨骨折手術・顎骨骨折手術（Ⅱ編５章 口腔外科小手術 ２２４頁～２２６頁を参照）			
4	口腔粘膜疾患（その１）			
5	口腔粘膜疾患（その２）			
6	炎症＋消炎手術（Ⅱ編５章 口腔外科小手術 ２０２頁～２０５頁を参照）			
7	嚢胞＋嚢胞摘出術・嚢胞開窓術（Ⅱ編５章 口腔外科小手術 ２１４頁～２１８頁参照）			
8	腫瘍および腫瘍類似疾患＋良性腫瘍切除術（Ⅱ編５章 口腔外科小手術 ２２１頁～２２２頁参照）			
9	顎関節疾患			
10	唾液腺疾患＋唾石摘出術（Ⅱ編５章 口腔外科小手術 ２１８頁～２２０頁参照）			
11	神経疾患			
12	血液疾患＋口腔心身症			
13	口腔外科診療の実際（診察と診断・歯科診療で問題となる全身疾患）			
14	口腔外科診療の実際（口腔外科手術の準備・手術の手技）			
15	口腔外科診療の実際（口腔外科小手術：抜歯術・小帯切除術・歯槽骨整形術・口腔インプラント手術）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	定期試験の結果でのみ判定します。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	講義前に前週の要点をまとめた小テストを配付します。（各自自己採点）			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載	講義前に当日使用するスライドを印刷し配布します。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	必要があれば随時学生の皆さんにお知らせします。			
備考				